株式会社ファンケル

第24期事業報告書

平成15年４月１日～平成16年３月31日

ファンケル中央研究所

●財務ハイライト

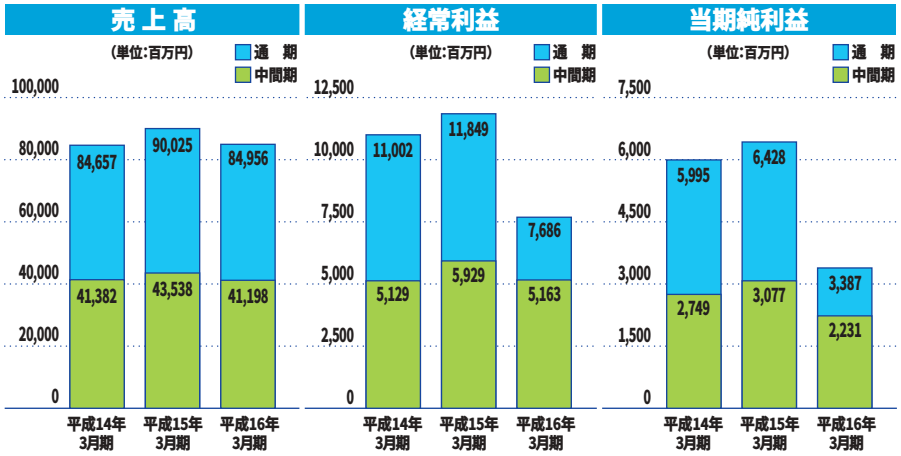
（単位:百万円）

連結	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
売上高	84,657	90,025	84,956
経常利益	11,002	11,849	7,686
当期純利益	5,995	6,428	3,387
１株当たり当期純利益（円）	307.55	279.58	154.61
総資産	79,026	79,804	78,479
株主資本	64,718	66,349	65,613

単体	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
売上高	66,302	70,733	66,448
経常利益	8,723	9,523	5,906
当期純利益	4,794	5,327	2,602
１株当たり当期純利益（円）	245.94	231.68	118.80
総資産	67,146	67,074	65,900
株主資本	56,762	57,418	55,865

業績の推移（連結ベース）

※連結子会社につきましては、16ページをご覧ください。



●ごあいさつ

新たなステージに向けファンケルは挑戦します。

株主のみなさまには、日頃よりひとかたならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当期（平成15年４月１日～平成16年３月31日）のファンケルグループの事業概況についてご報告申し上げます。

化粧品関連事業では、ファンケル化粧品はメークブランドの大幅なリニューアルなどを行いましたが、フェナティをはじめとした基礎化粧品の売上が落ち込み、アテニア化粧品が過去最高の顧客数となるなど好調に推移したものの、全体では減収となりました。健康食品関連事業は、店舗販売および卸販売においてダイエット関連製品や美容補助食品の売上が増加し、増収となりました。発芽玄米事業は、通信販売・OEM供給とも売上は減少しました。青汁事業は、天候不順による原料不足のため、冷凍タイプは一時品切れとなり、お客様にはご迷惑をお掛けいたしましたが、全体としては堅調に推移しました。NGC通販事業は、事業全般の見直しを行ったものの、減収となりました。

以上の結果、当期の売上高は84,956百万円（前期比5.6%減）、経常利益は7,686百万円（前期比35.1%減）、当期純利益は3,387百万円（前期比47.3%減）となりました。株主のみなさまのご期待に添えず、創業以来初の減収減益となったことを、深くお詫び申し上げます。現在当グループは、再び成長軌道に乗せるべく、平成17年３月期を初年度とする「中期三ヶ年経営計画（FANCL Change & Challenge Plan）」を軸に日々邁進しております。

何卒当グループの経営姿勢をご理解いただき、温かいご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

取締役会長
池 森 賢 二

代表取締役 社長執行役員
藤 原 謙 次

代表取締役 社長執行役員　藤原謙次

3つの改革と中期三ヶ年経営計画

私が社長に就任して一年が過ぎました。ファンケルは、無添加化粧品、高品質・低価格の健康食品など業界の常識に挑戦し、急速に発展してまいりましたが、市場環境の変化などにより、売上・利益面においてこれまでのような成長が望めなくなってまいりました。このような状況を打破するためには、創業者の創出したビジネスモデルに依存する企業体質を改め、現状の延長線とは一線を画した新しいファンケルグループの確立を目指すことが必要不可欠であると判断し、平成15年11月に「中期三ヶ年経営計画(FANCL Change & Challenge Plan)」を策定いたしました。「組織整備」「人材育成」「企業風土改革」という３つの改革を軸としてこの中期経営計画を推進し、三年後のV字回復に向けて挑戦してまいります。

初年度の取り組みと見通しについて

●化粧品関連事業

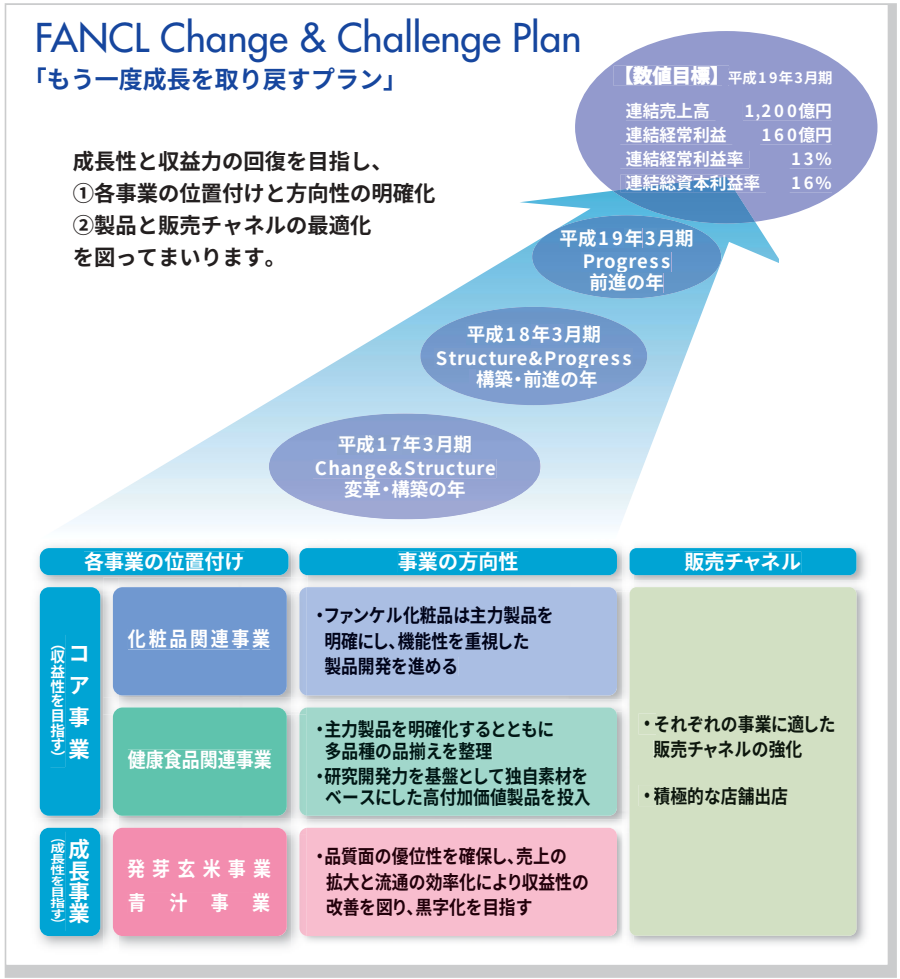
ファンケル化粧品では、当期売上が低迷した基礎化粧品の主力ブランド「フェナティ」の建て直しを図るため、リニューアルを行います。また同時に、ファンケルハウスを中心とした店舗網の拡大と広告宣伝の強化により顧客数の増加を図り、増収を見込んでおります。アテニア化粧品は、15周年を記念したキャンペーンの展開や一部の基礎化粧品のリニューアルなどを行い、引き続き増収を見込んでおります。

●健康食品関連事業

価格訴求路線から高付加価値路線への転換を推進し、ファンケルの独自素材「ツイントース」を使用した製品の投入などにより増収を見込んでおります。さらに、当社独自の成分の価値についてお客様にわかりやすくお伝えするため、広告・情報誌のレベル向上や店舗スタッフの教育強化などを図ってまいります。(「ツイントース」については、P.４からの特集にて詳細のご説明をさせていただいております。)

●発芽玄米事業・青汁事業

発芽玄米は、常食として食卓に定着させる上で、「味」と「価格」の２つの課題があるものと認識しております。そのようななか、まず「味」の改良に取り組み、新製法での美味しい「発芽米」の投入により増収を見込んでおります。青汁事業は、これまで集中していた栽培地を拡大して安定的な生産体制の構築を図り、加工食品向けや卸販売の強化により増収を見込んでおります。



変革の時代といわれる今、
研究開発は従来以上の大きな役割を期待されています。
ファンケルの強みである研究開発について、
「ツイントース」の開発の実績とともにご紹介します。

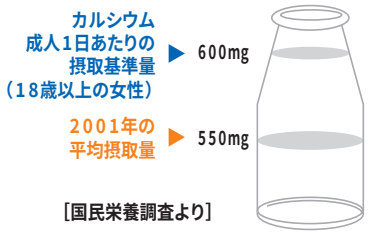
開発状況・成果

ファンケル中央研究所では、化粧品・健康食品の製品開発研究と同時に製品の有効性評価、素材探索研究を行っています。有効性評価では臨床試験により、疾病や疾患の症状緩和や予防改善効果、また皮膚科学に基づいた評価研究を行い、その研究成果を多くの学会に発表しています。これまでに出願した特許の数は300件を越え、現在も50以上の大学や研究機関、素材メーカーとの共同研究を推進しています。

『ツイントース』の誕生

栄養過多で栄養不足！？

私たち現代人は、たんぱく質・脂肪・糖質などは十分すぎるほど摂っていますが、ミネラルやビタミンなどの微量栄養素は慢性的な不足傾向にあるといわれています。例えばカルシウムの摂取量は過去30年間、国が定める栄養所要量に一度も達したことがないのです。



［国民栄養調査より］

ミネラルって一体何？

ミネラルは、肉や卵などのたんぱく質、油などの脂質、米やパンなどの炭水化物、果物などのビタミンとともに５大栄養素のひとつです。人間の生命維持活動の上で、カルシウムや鉄、亜鉛など、人間の体に欠かせない必須ミネラルは10種類以上あります。たとえたんぱく質やビタミンを十分に摂っていても、ミネラルがなければ健康な体とはいえません。また、ミネラルは人間の体内では作ることができないので、食事やサプリメントで摂取しなければなりません。

いくつご存知？
私達が生活していく上で、欠くことのできない必須ミネラル

高い研究開発力が生み出したファンケルの製品

○『ファンケル　メシマコブ』
韓国新薬と共同開発した菌糸体エキスのサプリメント。

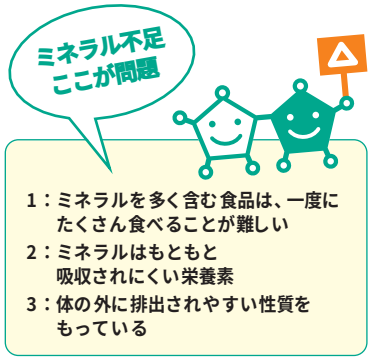
○『テンスアップＥＸ』
従来のコラーゲンよりも肌を美しく保つ効果が高いファンケル独自成分「HTCコラーゲン」配合。

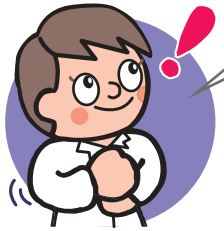
○『ホワイトアドバンス』
200種以上の植物の中からついに発見された「透明感」のための画期的な新成分「ヒドロキシチロソール」配合。

●『ファンケル ツイントース® 配合
ミネラルサプリメントシリーズ』

「不の解消」とツイントース

現代の日本では食品に含まれるミネラルが減少している上、毎日の食事も外食や加工食品が増加し、ますますミネラル不足が深刻です。高齢化が進むなか、ミネラルの一種であるカルシウム不足は骨粗鬆症につながるなど大きな問題にもなっています。ファンケルの使命は世の中の「不の解消」。ミネラル不足という国民的問題を解消するために何ができるか―研究の結果辿り着いたのが、ミネラル吸収促進作用のある「ツイントース」でした。





「ミネラル不足」を解消する新製品を作ろう！

産官学の共同研究プロジェクト始動

ツイントースの学術名は「DFA Ⅲ」。20年程前にその働きが発見されましたが、当時は大量生産することができず、研究はなかなか進みませんでした。その後北海道大学が長年の研究の結果、チコリの根に含まれる多糖類の一種イヌリンからツイントースを作る方法を発見、栄養生理学的な基礎研究が進みました。そして、開発パートナーである日本甜菜製糖株式会社と当社が研究に参画することで、製品化に向けて前進することとなりました。

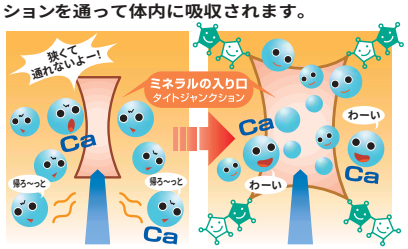
これらの研究は、日本人の慢性的なミネラル不足解消の手がかりになるものとして国からも注目され、科学技術振興機構や北海道からの奨励を受けました。

ミネラル吸収を画期的に促進

体内に入ったミネラルは、小腸や大腸で吸収されますが、小腸では、他の成分の影響を受け吸収されにくくなります。実験の結果、ツイントースは小腸の壁にある通路（タイトジャンクション）を通してミネラルの吸収を促進することがわかってきました。この通路は通常狭く、ミネラルが通りにくいので吸収されにくく、一部は吸収されずに体外へ出ていってしまいます。しかし、ツイントースと一緒にミネラルを摂ると、ツイントースがその通路を広げてミネラルが通るのを助けてくれます。また、大腸ではツイントースが腸内細菌によって発酵され、大腸内を酸性にすることにより、大腸内に入ったミネラルが溶かされて吸収されやすくなります。

このように、小腸・大腸の両方でミネラル吸収を高めることがツイントースの特徴です。

ミネラルは主に小腸の腸壁にあるタイトジャンクションを通って体内に吸収されます。



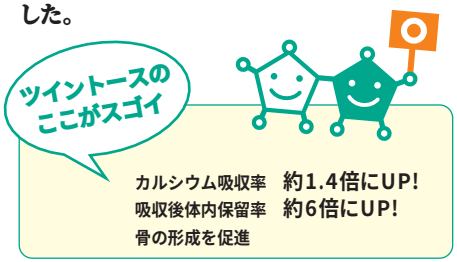
ツイントースがないと…
ミネラルは元来吸収されにくい性質をもっているため体外へ排出されやすい。

ツイントースが働くと…
小腸で積極的に吸収され、さらに大腸でもツイントースと腸内細菌の働きにより、溶けやすくなって、ミネラル吸収が促進されます。

小腸、大腸の２ヶ所で、ミネラル吸収を高めることは、ツイントースの特徴的な機能

驚くべき実験結果

研究では、ツイントースとカルシウムを摂取した場合、カルシウム吸収が促進され、さらに骨の育成を促進していることまで実証できました。



ツイントースはミネラルの吸収を助け、しっかり身につけてくれる強い味方なのです。毎日の食事に気をつけている人でも、ひょっとしたらミネラル不足かもしれません。せっかく摂ったミネラルを、ツイントースできちんと体内に吸収させ、ミネラル不足を解消しましょう。

愛　　称	：ツイントース
本　　名	：DFA Ⅲ（学術名）
正　　体	：洋野菜チコリの根を原料としたオリゴ糖
愛称の由来	：糖（フラクトース）が2つくっついた構造をしているので、2つのフラクトース→「ツイントース」という名前になりました。
特　　徴	：ミネラルの吸収促進・ミネラルの体内保留率アップ・骨形成促進

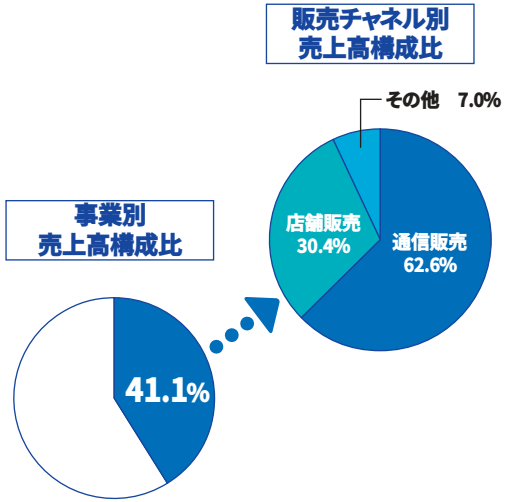
ツイントース

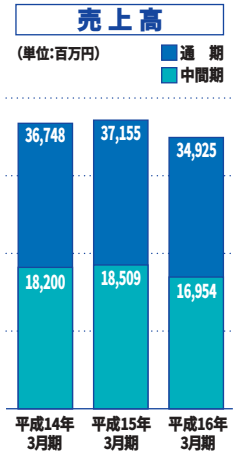
「ツイントース」はファンケルの登録商標です

新たな可能性を求めて

当社はツイントースに関する研究を進め、ヒトでの有意な機能性を実証しました。また平成16年４月・５月にツイントースを配合したミネラルサプリメント ４品を新発売するなど、世界で初めて「ツイントース」を用いたサプリメント事業を展開しています。今回の成果は、国の科学技術振興機構が全国で企画運営している地域結集型産官学共同研究事業のなかで、唯一実用化に至った研究として高い評価を得ています。今後もツイントースの機能について研究を進めるとともに、当社ならではの独自素材の開発や食品機能の研究を進め、その研究成果をベースに、高機能製品の開発に取り組んでまいります。どうぞこれからのファンケルの研究開発にご期待ください。

化粧品関連事業





化粧品関連事業の売上高は、34,925百万円（前期比6.0%減）となりました。そのうち、ファンケル化粧品は26,370百万円（前期比11.2%減）、アテニア化粧品は8,147百万円（前期比15.1%増）となりました。

通信販売の売上高は、21,869百万円（前期比4.8%減）となりました。ファンケル化粧品は、競合他社と明確な差別化を図ることができず、「フェナティ」を中心とした基礎化粧品の売上が前期に比べ減少しました。また、前期不振だったメーク製品の活性化を図るため、無添加メーク「ベルメール」、ポイントメーク「クレヴァンス」の大幅なリニューアルを行い、リニューアル後は売上を伸ばしたものの、基礎化粧品の落ち込みをカバーするには至らず、売上高は14,234百万円（前期比12. 3%減）となりました。一方アテニア化粧品は、基礎化粧品・メイク製品ともに好調に推移しました。新規顧客獲得も順調で、顧客数は過去最高を記録し、売上高は7,628百万円(前期比13.4%増）となりました。

店舗販売では、平成15年4月にファンケルスクエアがオープンし、既存店の改装（業態変更含む）や店舗スタッフの教育の強化を行いましたが、既存店の売上は回復せず、売上高は10,608百万円（前期比8.2%減）となりました。

その他の販売チャネルでは、SARSの影響もあり香港向けは前期並みとなりましたが、コンビニエンスストアでの日販金額が減少し、売上高は2,448百万円（前期比7.2%減）となりました。

Close Up

ファンケル
2大メークブランドがリニューアル

無添加スキンケアメーク

「ベルメール」

メークにしかできないスキンケアという、独自の発想から生まれた無添加スキンケアメークです。日中のほとんどの時間をメークして過ごす女性の肌を守りながら、本来の肌機能を高め、美しくすこやかに育てます。防腐剤や合成色素などを一切使わずに、カバー力、化粧もちなど、高いメーク機能をかなえます。

ベルメール スポッツコンシーラー
小さなしみやほくろなどをピンポイントで簡単・しっかりカバー

ベルメール ルーセントフェイスパウダー
ソフトフォーカス効果で、深い透明感ときめ細かい美肌を演出する仕上げ用パウダー

ベルメール ルーセントプレスト
ルーセントフェイスパウダーの固形タイプ

ベルメール スキンケアベース <グリーン>
化粧もちを高め、つけたての美しい仕上がりを長時間保つメーク下地。グリーンのコントロールカラーで強力に肌の赤みやくすみを抑えます。

ベルメール リキッドファンデーション [オイルフリー]
汗や皮脂に強く、軽くナチュラルな仕上がり。さっぱりタイプの液状ファンデーション。

ベルメール スキンケアベース オイルコントロール
べたつく肌もサラッと整える、さっぱりタイプのメーク下地。

高発色ポイントメーク

「クレヴァンス」

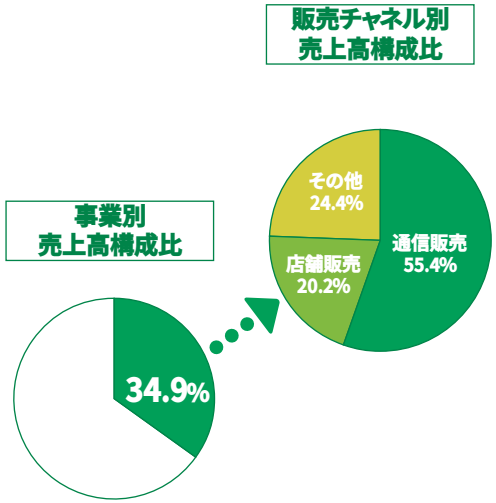
ドラマティックな輝きでさらに色めく！もっと楽しく！ファンケル独自の厳しい“ やさしさ基準 ”を守りながらも、度重なる研究開発の成果を投入。「新クレヴァンス」は、さらに美しい発色と輝き、多彩な色揃えを実現します。

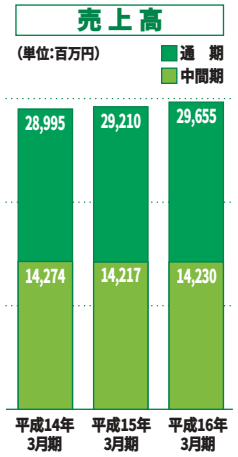
アテニア化粧品

アテニア化粧品は、平成16年２月で創業15周年を迎えました。“ 高品質なのに低価格 ”をコンセプトに、お客様のご意見やご要望を形にしてまいりました。おかげさまで、平成16年３月末の通信販売の顧客数は過去最高となりました。

アテニア化粧品HPアドレス　http://www.attenir.co.jp/

健康食品関連事業





健康食品関連事業の売上高は、29,655百万円（前期比1.5%増）となりました。

価格訴求路線から高付加価値路線へ転換を図るため、製品ラインナップの見直しを行い、平成15年６月から８月にかけて16品目の販売を終了しました。その一方で、独自素材を使用した高付加価値製品として、11月に「テンスアップEX」、平成16年３月に「ホワイトアドバンス」を発売しました。

通信販売の売上高は、競争激化による顧客数の減少により16,439百万円（前期比4.0%減）となりました。ダイエット関連製品や美容補助食品、ハーブ製品は増加しましたが、サポートシリーズなどの売上減少をカバーするには至りませんでした。

店舗販売では、化粧品販売が中心のファンケルハウスにおいてダイエット関連製品やハーブ製品の売上が増加し、ファンケルスクエアの効果もあって、売上高は5,994百万円（前期比8.5%増）となりました。

その他の販売チャネルではSARSの影響などにより香港向けは減少しましたが、コンビニエンスストアやスーパーマーケットでの売上が増加したことにより、7,221百万円（前期比10.0%増）となりました。

Close Up

新発売
ファンケル中央研究所が生み出した高機能性製品

透明感のある肌を実現する、
進化した美白サプリメント

「ホワイトアドバンス」

美白

メラニンには「黒色」と「肌色」の２種類があり、肌の色はこの割合で決まります。「黒色メラニン」が多ければシミ・そばかすが多くなることから、従来の美白対策は、「黒色メラニン」をブロックすることに重点が置かれていましたが、ファンケル中央研究所ではシミ・くすみのない肌本来の色に近づくためには、メラニンの比率を変えればよいのではないかと考え、「肌色メラニン」の生成に着目。研究を重ねた結果、「ヒドロキシチロソール＋L-シスチン」の組み合わせが最も効果的にシミを改善することを見出しました（特許出願中）。「黒色メラニン」をブロックするとともに「肌色メラニン」の生成に働きかける、これまでにない新しい発想のホワイトニングサプリメントです。

これらの研究成果を「第75・76回日本生化学会大会」と「健康と疾病における食品因子とフリーラジカルの役割に関する国際合同会議（FFFR2003）」にて発表いたしました。FFFR2003では、ポスター賞を受賞し、研究として高い評価を頂きました。

「肌色メラニン」が多ければ
透明感のある美しい肌に！

特長

- ○肌色メラニンを生成して、もっと理想的な白美肌へ
- ○白美肌を実現する機能的な成分を配合
- ○続けやすい価格を実現

新開発HTCコラーゲン配合の美容ドリンク

「テンスアップEX」

肌老化

発売以来大変好評の美肌ドリンク「テンスアップ」に、ファンケル独自の成分『HTCコラーゲン』を新たに配合しました。HTCコラーゲンは、肌に多く含まれる「グリシン―プロリン―ヒドロキシプロリン」のアミノ酸配列のトリペプチドを多く含み、すばやく吸収されて、コラーゲン合成を促進させます。アンチエイジング世代にも効果実感が高い成分で、しわやたるみを肌の内側から予防改善します。

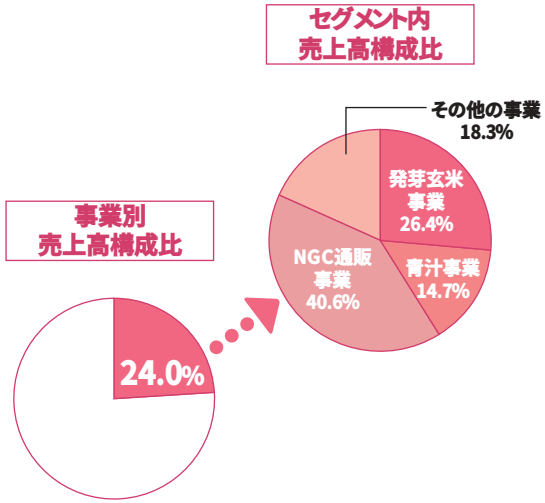
燃焼系ダイエットサプリメント

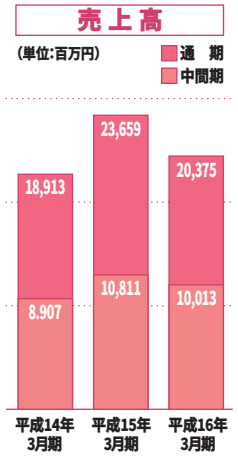
「パーフェクトスリム」

ダイエット

話題の燃焼に役立つ成分“L-カルニチン”を新配合してパーフェクトスリムがパワーアップ！さらにコエンザイムQ_{10}とビタミンB_1をプラスして、理想的なスタイルを目指す健康的なダイエットを応援します。

その他事業





その他事業の売上高は、20,375百万円（前期比13.9%減）となりました。

発芽玄米事業の売上高は、5,383百万円（前期比21.3%減）となりました。通信販売では顧客数が減少し、全国米穀販売事業協同組合・ホクレン農業協同組合連合会へのOEM供給についても、テレビコマーシャルと連動した営業活動の強化を図ったものの、売上は前期を下回りました。

青汁事業は、冷凍タイプに加え、粉末タイプも堅調に推移し、すべての販売チャネルにおいて売上が増加し、2,985百万円（前期比19.3%増）となりました。

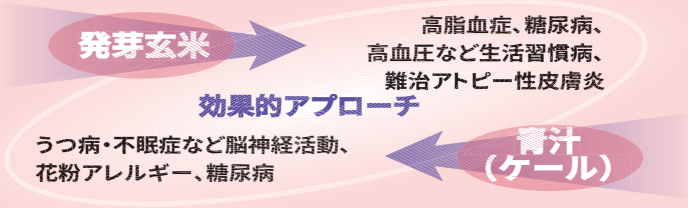
NGC通販事業は、カタログの内容、顧客サービス、製品ラインナップなど事業全般の見直しを行ったものの売上高は前期を下回り、8,270百万円（前期比24.4%減）となりました。

その他の事業は、雑貨の販売が堅調に推移したことおよび銀座ファンケルスクエアのエステサロンなどの売上が当期から計上されたことにより前期を上回り、3,736百万円（前期比10.7%増）となりました。

天候不順による原料不足のため２月より冷凍タイプの青汁が一時品切れとなりましたが、５月より再開いたしました。メーカーとして供給責任を果たせず、お客様にご迷惑をお掛けいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

Close Up

ファンケル
発芽米と青汁で健康生活を提案します。



発芽玄米

発芽米本来の味が楽しめる

「発芽米〈ごはん〉100%」

電子レンジで約90秒加熱するだけで炊き立てのおいしさが味わえる、発芽米100%のごはん。ギャバや食物繊維などの栄養成分が豊富な発芽米を、手軽にお召し上がりいただけます。

初めての方にも食べやすい白米入り

「発芽米〈ごはん〉白米入り」

発芽米50%、白米50%なので、発芽米を初めて試される方でも食べやすく、またどんな料理とも相性がよいのが特長です。

ニュース

進化する『発芽米』

「おいしく炊けて香ばしい発芽米」が新製法でさらにおいしくなりました。このファンケル独自の新製法により、おいしさも栄養も最高の状態となった発芽米は、今まで以上に旨みを閉じこめ、ふっくらとした炊きあがりになりました。

青汁

スーパー野菜ケールの栄養素を手軽に補給できる

「ファンケル　青汁粉末」

ケールの葉をまるごと凍結乾燥し粉末化したので、ケールの栄養成分をまるごと摂取できます。青汁がもつ特有の青臭さを低減し、ますます美味しくなりました。

貸借対照表

（単位:百万円）

科目	前期 平成15年3月31日現在	当期 平成16年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	41,207	39,236
現金及び預金	18,638	15,828
受取手形及び売掛金	8,220	7,814
有価証券	7,731	7,732
たな卸資産	5,103	5,472
その他の流動資産	1,513	2,388
固定資産	38,596	39,242
有形固定資産	26,109	26,767
建物及び構築物	11,198	12,701
その他の有形固定資産	14,910	14,065
無形固定資産	2,036	1,636
投資その他の資産	10,450	10,839
投資有価証券	947	1,083
長期貸付金	1,010	1,007
保証金	2,464	2,502
その他の投資その他の資産	6,028	6,245
資産合計	79,804	78,479
（負債の部）		
流動負債	11,403	10,022
支払手形及び買掛金	3,341	3,172
その他の流動負債	8,062	6,849
固定負債	2,050	2,843
負債合計	13,454	12,866
（資本の部）		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	48,027	50,528
その他有価証券評価差額金	△9	54
為替換算調整勘定	△0	△4
自己株式	△4,168	△7,466
資本合計	66,349	65,613
負債・資本合計	79,804	78,479

損益計算書

（単位:百万円）

科目	前期 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日	当期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日
売上高	90,025	84,956
売上原価	31,044	29,260
売上総利益	58,981	55,696
販売費及び一般管理費	47,455	47,926
営業利益	11,526	7,769
営業外収益	891	701
営業外費用	567	784
経常利益	11,849	7,686
特別利益	7	0
特別損失	778	1,472
税金等調整前当期純利益	11,078	6,213
法人税、住民税及び事業税	5,001	3,153
法人税等調整額	△351	△326
当期純利益	6,428	3,387

剰余金計算書

（単位:百万円）

科目	前期 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日	当期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日
（資本剰余金の部）		
資本剰余金期首残高	11,706	11,706
資本剰余金期末残高	11,706	11,706
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	42,245	48,027
利益剰余金増加高	6,428	3,387
利益剰余金減少高	646	886
利益剰余金期末残高	48,027	50,528

キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科目	前期 自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日	当期 自 平成15年4月 1日 至 平成16年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,828	5,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,582	△4,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,432	△4,532
現金及び現金同等物に係る換算差額（差益：△）	△27	△20
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△1,213	△2,808
現金及び現金同等物期首残高	27,535	26,370
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	48	—
現金及び現金同等物期末残高	26,370	23,561

●会社情報（平成16年3月31日現在）

会社概要

会社名	株式会社ファンケル
英文名	FANCL CORPORATION
本店所在地	横浜市栄区飯島町109-1
本社事務所	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-1200（代表）
設立	昭和56年8月
資本金	10,795百万円
従業員数	612名　※パート・嘱託は除く
主な取引銀行	UFJ銀行 東京三菱銀行 みずほコーポレート銀行 横浜銀行

役員（平成16年6月19日現在）

○印 代表取締役
＊印 取締役

＊会長	池森賢二
○社長執行役員	藤原謙次
専務執行役員	余頃康之
＊常務執行役員	成松義文
＊常務執行役員	宮島和美
＊常務執行役員	岡田隆吉
＊常務執行役員	中島純也
常務執行役員	針谷吉典
＊執行役員	山本　尚
＊執行役員	石渡健一
＊執行役員	須釜憲一
執行役員	圓山勝美
執行役員	芝　正二
執行役員	辻　智子
執行役員	片瀬信郎
執行役員	矢島　明
執行役員	平野　豊
＊取締役	早川吉春
常勤監査役	山田鯛二
常勤監査役	池田文子
監査役	小関勝紀
監査役	米田康弘

（注）1. 取締役の早川吉春氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役の山田鯛二、池田文子、小関勝紀および米田康弘の4氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

連結子会社一覧

会社名	住所	資本金	設立	議決権の所有割合	事業内容
(株)アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成元年2月	100%	化粧品・健康食品の販売
ニコスター(株)	横浜市栄区	10百万円	昭和59年9月	100%	化粧品の製造
(株)エヌ・ジー・シー	東京都渋谷区	160百万円	昭和37年12月	100%	健康器具・家庭用雑貨等の販売
(株)ファンケル発芽玄米	長野県小県郡東部町	95百万円	平成11年8月	84.6%	発芽玄米の製造
FANCL ASIA (PTE) LTD	シンガポール(トムソン通り)	9,369千S$	平成12年3月	100%	海外販売統括
(株)ファンケル美健	横浜市栄区	75百万円	平成14年10月	100%	化粧品・健康食品の製造

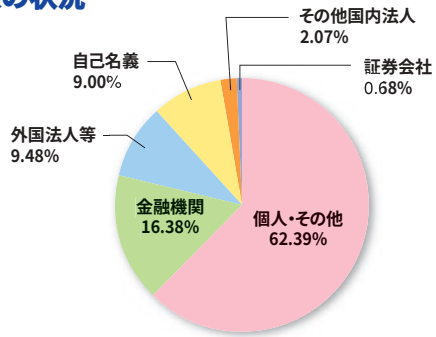
（注）(株)エヌ・ジー・シーは、平成16年5月、(株)いいもの王国に商号変更しております。

●株式情報（平成16年3月31日現在）

株式の状況

証券コード	4921（東証1部）
会社が発行する株式の総数	77,946,000株
発行済株式の総数	23,392,200株
株主数	24,105名

所有者別株式数の状況



株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部　TEL. 03-5683-5111
同取次所	UFJ信託銀行株式会社　全国各支店
公告の方法	日本経済新聞に掲載 ※当社の決算公告は、当期から貸借対照表および損益計算書を当社ホームページ(http://www.fancl.co.jp/)に掲載することといたしました。

＊当社株式に関する事務手続き用紙（お届出の住所・姓名・印鑑等の変更届、配当金振込指定書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、左記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間承っておりますので、ご利用ください。

（通話料無料）
0120-24-4479（本店証券代行部）
0120-68-4479（大阪支店証券代行部）

インターネットアドレス
http://www.ufjtrustbank.co.jp

お知らせ

単元未満株式（当社の場合は100株未満の株式）をご所有の株主さまが、当社に対し、その単元未満株式とあわせて1単元となるべき単元未満株式の売り渡しを請求できることとなりました。なお、単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたします。詳細は、当社名義書換代理人（UFJ信託銀行）へお問い合わせください。

FANCL

株式会社ファンケル

［本　　店］〒247-8577 横浜市栄区飯島町109-1
［本社事務所］〒231-8528 横浜市中区山下町89-1
TEL: 045(226)1200（代表）

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

http://www.fancl.co.jp/

環境に配慮して再生紙を使用しています。